

ゴールデンウィークに実施する「ゴッホの椅子づくり」in佐久準備のために作業してきました。24日は尾方さんの別荘に来季用の薪を運搬。25日から26日は山荘で唐松の伐採、ログハウスのトイレに新しい（中古）便座を設置しました。

4月25日の長野県はこの季節にない冷え込みで、山荘はマイナス4℃、北からの風が冷たく冷え込みました。ラジオニュースで農作物の低温による被害などが伝えられていました。通常は最低気温3℃ぐらいです。9時ごろからチェーンソーを点検して刃を研いで準備。椅子の材料にする、「唐松」樹齢約40年、幹の太さ1.5m、樹高22m木目が綺麗な真っ直ぐな木です。伐採は私と尾方さんの二人で行いました。チェーンソー（STEAL261）は良く切れて、10分ほどで伐採することが出来ましたが、枝を払って丸太にしてホールまで運搬、後片付けをするには4時間ほどかかりました。唐松は椅子の後ろ足用に90cm、抜きや座板、背板用に50cm



の丸太にしてあります。とても重くて固い材料です。試しに90cmの丸太を、鉄のくさびと大ハンマー（鉄製）で半分に裂いてみました。くさびを打ち込むと「ミシミシ」と木が鳴きます、かなり大変な作業でした。半分にしていまえば後は楽に割れます。ゴールデンウィークのグリーンウッドワーク椅子づくり楽しみです。

11時ごろにガールスカウトの真柄さんが山荘を訪問。内山大橋まで迎えに来て欲しいと電話連絡ありましたが、伐採の真っ最中で希望にお応えすることが出来ませんでした。何とか自力で、山荘まで来ていただきました。約束していたフォークを10本ほど届けてくれました。それから30分ほどして東京の櫻井さんご夫妻が、見学に見え



て場内を案内しました。ご主人はボーイスカウト、奥様はガールスカウトに所属していて共に東京連盟の理事です。

まだ、キャンプの予定は決まっていませんが、とても素晴らしいキャンプ地に間違いないので必ずスカウトを連れて来るそうです。伐採と丸太運びで腰も痛

くなり、夕方には一万里温泉に行って温まることにしました。 21時就寝

4月26日 はれ5℃ 室内15℃ 霧雨

6時に起床、伐採で体中の筋肉が痛く、腰を痛めたと心配していましたが温泉効果か？痛みは無く体も不自由なく動きました。薪ストーブを焚いて、暖まり朝食はほうじ茶とヨーグルトにジュース。8時ごろに、雨水タンクの点検をして井戸ポンプを始動しましたが、水が出ません。ポンプは動いているのにタンクから水を吸い上げている様子が無いのです。取扱説明書を探して、原因を突き止めようとしたのですが、分かりませんでした。

また課題が出来てしまいました。どうも、ポンプの中で何かが詰まっているようです。

9時ごろに尾方さんが到着したので、トイレの床をフローリングに張り替えてから便座を設置する作業に取りかかりました。場所が狭いのでトイレは尾方さんをお願いして、私は台所の整理とゴールデンウィークに実施するグリーンウッドワークの準備作業を行いました。今まで、外で作業しているとなかなか細かい整理が出来なくて、何がどこにあるのか、探すことが多かったのですが、今回、種類別、形などを考えて使いやすく整頓できました。

昼食はホットサンド（ハム・チーズ・タマネギ）とイチゴ。

14時ごろに作業終了したので、戸締まりをして松田に向けて出発。17時30分に到着。

4月初旬に作業した際、プレカットセンターのN氏が、出来上がったホールと場内の見学に来てくれました。余った建築材料があれば頂きたいとお願いしたら、いつでもどうぞと快諾いただいたので、今回使用した床材などを頂いてきました。プレカットする際に出る端材（桧・杉・集成材など）もいただけるので5月後半に訪問することにしました。

伐採した唐松は左下の写真（左側）右側も伐採する予定でしたが、時間が無かったので次回にしました。ねらい通りに伐採できて、心地よい日でした。

